

桑名市議会議長
安藤寛雅様

第3班 班長
南澤幸美

議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成24年4月20日（金）19時00分～20時30分		
開催場所	多度町総合支所		
出席議員	班長	南澤 幸美	
	司会	伊藤 真人	記録者 倉田 明子、石田 正子
	倉本 崇弘		市野 善隆
			伊藤 恵一
参加人数	34人		
議会報告の概要	<ol style="list-style-type: none">1. 班長挨拶・各議員自己紹介2. 議会報告（報告会資料当日配布）<ol style="list-style-type: none">① 市議会の概要と役割② 議会基本条例③ 平成24年度の主な予算及び事業概要3. 報告及び説明に関して質疑応答4. 意見交換 （議会報告会の資料に基づいて議会活動状況の報告、平成24年3月定例会における予算等の審議状況の報告等を各議員が分担して報告した。その後に質疑応答、意見交換を行なった。）		
主な意見・要望	<ul style="list-style-type: none">・新病院建設予定地について（災害に対応できるのか）・健康増進施設への建設要望・私有地の未利用地の活用について・市の施設の活用（廃校利用を含む）・学校の再編統廃合について・多度町上空が中部空港の離着陸の空路になっているか（航空経路）・財政状況について（見通しはどうか）・職員不祥事について		
備考			

報告説明に対する質問

- Q 陽だまりの丘複合施設の総予算はいくらか。また、この事業が突然出てきた理由を説明されたい。
- A 1点は、地元からの要望があったこと。2点目は、市長が2年前のマニフェストに掲げており、準備は順次進められていた。総事業費は数億円だったと思うが、正確な金額はわからない。
- Q 健康増進施設予算は、どのような修正案が出されたか説明してほしい。
- A 今の時期にやるべき事業か問う意味で、その部分を削除した修正案を出した。6名の議員の賛同を得たが否決となった。
- Q 予算を削除しろ、ということは、健康増進施設はいらん、ということか。
- A いらんという訳ではなく、時期が悪いということ。
- Q 桑名の財政は、全国的にも下の方と聞いた。子どもの代に借金がこのころのではないか心配だ。歳入歳出についてどう考えているか。
- A 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」では黒字、「実質公債費比率」は全国我真ん中あたり、「将来負担比率」は全国の下の方だが、国の健全化が求められる基準よりは大きく下回っている。年々わずかではあるが改善しているので、今後も注意深く見守っていきたい。
- Q 悪いことはどこにも書いていない。悪いことは悪いと、きちんと言ったほうがよい。
- A 財政力は県で5番目なのに将来負担比率、経常収支比率は悪い。予算の使い方が悪いのではないか。駅西も下水も、予算をかけている割には遅々として進まないし、新興住宅地と旧市街地との税金の使い方のバランスが悪いと思う。
- Q 新病院の建設場所は災害でも浸水せず、活断層のない場所がよいのではないか。そのような話は出なかったのか。
- A 話は出たが、予算、利便性等考慮して旧山本病院近辺になったと聞いている。いただいたご意見は、新病院の整備等に関する特別委員会で調査・審査していくようにする。
- Q 健康増進施設は、地域活性化・災害との説明を聞いたが、地元の民意を汲んでの設計変更か。健康増進施設の機能は残されているか。
- A 健康増進の機能に、防災、地域活性化の機能を加えたものである。

意見交換会

- Q 市の不動産、例えば神社前の土地、いずれなくなる西医療センターなどの土地の売却、西小学校の校庭を駐車場に貸すなど、縦割り行政の既成概念をとっばらい、活用することで市の収入につなげていってはどうか。
- A 昨年度、桑名市が持っている公有財産を有効に利用すること、外部の意見を取り込むことを盛り込んだ委員会提言を出した。本年度、台帳整備の予算がつけられている。土地のネット販売も行っている。庁内では、各部署の課長による庁内会議を開き、縦割り行政でなく、市の財産として一体的に取り組んでいる、と聞いている。
- Q 市の土地売却に関しては、買ったときの値段と、売るときの値段が違うから難しいのだということを聞いた。市民からすれば、売るか売らないかの問題だけだと思う。
- A 土地開発公社が所有している土地のことだと思う。おっしゃっていることはよく理解して、それぞれがしっかり考えて質問等している。
- Q 市の不祥事に対して議会としてはどう考えているか。
- A 不祥事に関して、議会からは辞職勧告決議案が上程されたが否決され、問責決議案が採択された。
- Q 会派をあちこち移動している議員がいるが、どうしてか。
- A 会派の移動は議員個人の自由。
- Q 健康増進施設は凍結なのか延期なのか、どうして本年度再度設計費が上がってきたかなど、採決した結果だけ聞いてもよくわからない。議会で何が話しあわれてどうなったか、経過もこの報告会で説明してもらいたい。
- A 設計変更の予算が議決されたので、一旦凍結、延期されたけれど、本年度再度認められた。
- Q 設計変更はどこからでてきたものか。
- A 当局からでてきたもの。
- Q 経常収支比率ワースト1と、ある議員の議会便りに出ていた。一個人の便りでも、市民からすれば議会総意のものにとれる。ワースト1と書いてあるとびっくりする。
- A 議員個々、また会派の新聞は議会の総意ではない。財政力指数と経常収支比率とのバランスを考えながら、他の各種事業の推進と行財政改革を推進していかなければならないと考えている。
- Q 新病院の跡地を四日市では住宅地にしている。津市では旧河芸庁舎を、四日市では隣

の総合庁舎をバックアップセンターにしている。津は距離がありすぎる、四日市は近すぎて震災時は同時に被害にあうので、2～3 kmくらい離れたところにバックアップセンターと作ってはどうか。

A 貴重な意見として伺っておく。

Q あおば小学校は、なぜ標高の低い南小にしたのか。

A 学校の再編を、災害時における立地条件も踏まえて、桑名市全体で考えていくように議会でも議論していく。

Q 議会の聞きとりの際、市職員が議員の部屋の前で長蛇の列で待機していた。職員は市民の方を見ていなくてはならないのに、議員の方ばかり見ているのはけしからん。並ばない方法を考えよ。

A 議会改革の一つとして検討する。

Q 中部国際空港の騒音調査をしているか。

A できた当初からしている。現在は基準内と聞いている。

(補足) 確認したところ、「中部国際空港に係る環境監視計画」に基づき年2回定期監視をしており、全ての地点で基準値を下回っているとの説明であった。

Q 多度町の上空は通らないときいているが。

A そのように聞いているが、調べておく。

(補足) 確認したところ、飛行機が多度上空を通過することはあるとのことである。しかし、環境基準を超える騒音レベルで多度上空を飛行することはないとの説明であった。

Q 地方独立行政法人とは何か。議会は、独法に対して物申せないのか。

A 中期計画に対して、意見を言うことができる。

Q 職員は非公務員か。行政の人間は事務方にいないか。

A 非公務員型だが、市職員の天下り・派遣はある。今現在、桑名西医療センターの事務長は行政の職員である。

Q 市の補填なしで運営できるか。

A 今はわからない。特別委員会で見守っていく。